

『有機の里づくり』とは

人・物・金・情報などの様々な地域資源が有機的に結びつきながら、できる限り自己完結して地域内をぐるぐる循環し、地域の人と人との信じ合い、助け合い、支え合う自立性の高い、人と自然が共生する町を目指したまちづくりのことです。

地域有機物資源循環で 環境にやさしい町づくり

地域の有機物資源の利用は、化学肥料などの地域外からの物質を減らすことになるので、猪苗代湖に流入する河川への環境負荷をも軽減されます。

さらに、湖水の養分を吸収した湖岸に生息する葦（あし）を刈り取り、湖水の外に搬出することで、湖水の水質浄化に大変良い効果があります。

「未来の夢たい肥」を生産する『優良堆肥製造施設』は、有機物資源はもとより猪苗代湖の葦を堆肥化することにより、環境にやさしい町づくりを促進し、人・物・自然を有機的に結合させて豊かな将来を目指す「有機の里づくり」構想の要でもあります。

地域有機物資源で 安全・安心農産物の生産

『優良堆肥製造施設』では、生ごみ、家畜排せつ物、もみ殻、そして猪苗代湖岸の葦などの地域内有機物資源を原料に『未来の夢たい肥』を生産しています。

環境に配慮したまちづくりの核となるこの施設で、地域の有機物資源から生産された良質の堆肥は、作物にやさしい土を育み、町の自然と相まって、安全・安心な農作物の生産と、それを食する私たちの健康づくりに寄与します。

有機でつなぐ 食・体・心 みんなにやさしい 猪苗代



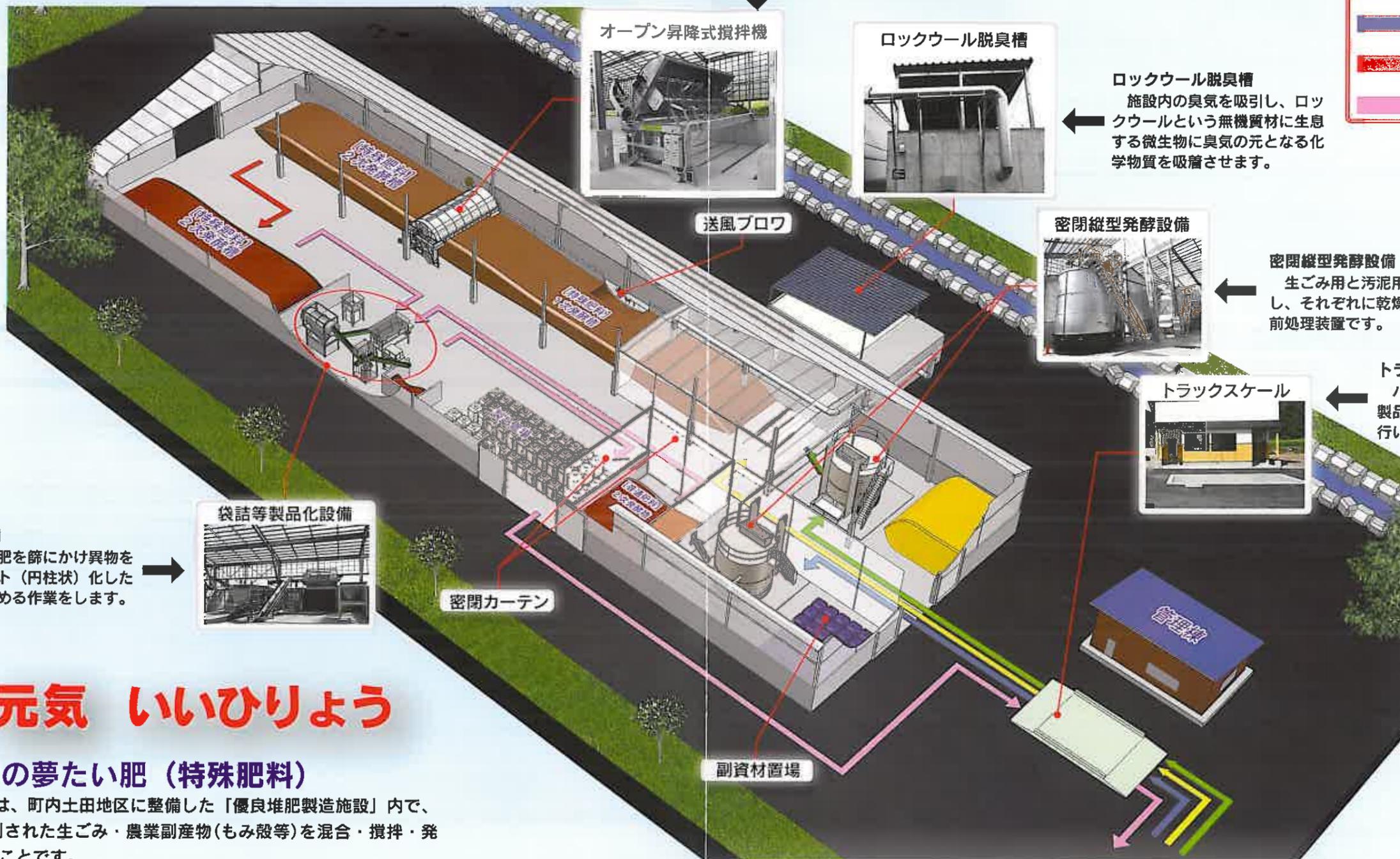
『有機の里づくり』ロゴマーク

猪苗代町

【猪苗代町優良堆肥製造施設】

オープン昇降式攪拌機(かくはん機)
原料の家畜(牛)排せつ物、生ごみ、もみ殻をトラクターのロータリーのような爪で入念に攪拌し、原料の自然発酵を促進します。

- 牛ふん系動線
- 生ごみ系動線
- 汚泥系動線
- 製品移動動線
- 製品出荷動線



ロックウール脱臭槽
施設内の臭気を吸引し、ロックウールという無機質材に生息する微生物に臭気の元となる化学物質を吸着させます。

密閉縦型発酵設備
生ごみ用と汚泥用の2基を配置し、それぞれに乾燥・発酵させる前処理装置です。

トラックスケール
パソコンと連動させ、原料や製品を積んだ車輛の重量管理を行います。

袋詰等製品化設備
できあがった堆肥を篩にかけ異物を取り除き、ペレット(円柱状)化したり、堆肥小袋に詰める作業をします。

有機 元気 いいひりょう

未来の夢たい肥 (特殊肥料)

『未来の夢たい肥』とは、町内土田地区に整備した「優良堆肥製造施設」内で、家畜(牛)排せつ物・分別された生ごみ・農業副産物(もみ殻等)を混合・攪拌・発酵させた「特殊肥料」のことです。

同じ施設内で、公共下水・農業集落排水各施設からの汚泥を発酵させた「普通肥料」も別系統で製造しています。

●主な成分の含有量

○窒素全量	1.1%
○リン酸全量	1.4%
○加里全量	1.6%
○炭素窒素比	20
○含水率	45.0%

●特徴

- 土の保肥力を高め、土を軟らかくします。
- 高温発酵により、有害微生物や雑草発生の問題がほとんどありません。
- 有機物由来の肥料成分が含まれ、化学肥料施用を節約することができます。

【堆肥ができるまでの製造工程】

- 特殊肥料 生ごみ(密閉縦型発酵装置で乾燥前処理16日間)
→牛ふんともみ殻に混ぜ攪拌機での1次発酵(30日間)
→ローダーの切り返しての2次発酵(60日間)
→できあがりまで約3ヶ月半かかります。
- 普通肥料 汚泥(密閉縦型発酵装置で1次発酵前処理16日間)
→ローダーの切り返しての2次発酵(60日間)
→できあがりまで約2ヶ月半かかります。

【事業内容】

- 事業名称 バイオマスの環づくり交付金事業
- 事業主体 猪苗代町
- 管理運営 猪苗代町・優良堆肥製造施設
- 全体事業費 430,000千円
- 工期
 - ・平成18~19年度 堆肥化施設整備(連絡道路、堆肥舎・電気設備・プラント設備、外構等)
 - ・平成19~20年度 原料収集運搬システム構築、草堆肥化検討、バイオディーゼル燃料実用化検討